

令和5年度 三輪公民館運営審議会 開催概要

- 1 日 時 令和5年6月7日(水曜日)午後 2時から午後 3時 28分
- 2 場 所 長野市立三輪公民館 1階 学習室1
- 3 出席者 出席委員(9名)
金井和彦委員、金井信幸委員、山岸静子委員、丸山匡委員、
中澤美三委員、柄澤恭子委員、久保友里恵委員、徳武知恵委員
小林澄子委員
事務局(2名)
清澤清 三輪公民館長、池田尚史 公民館係長
- 4 委嘱書交付 開会後会議の成立を報告、委員改選後初めての会議のため、全委員に委嘱書を交付(予め席に配布)
- 5 会長及び会長職務代理者の選出
委員の互選により会長に金井和彦委員を選出し、会長が金井信幸委員を会長職務代理者に指名した。
- 6 議 題 (1)令和4年度 三輪公民館事業報告について(資料別添)
(2)令和5年度 三輪公民館事業計画について(資料別添)
資料に基づき事務局より説明が行われ、質疑応答後、提出議題について満場一致で承認された。
- 7 質疑内容
主な質疑応答は以下のとおり

〔委員〕

三輪公民館は施設に入ってきた時、最初に玄関の周りが明るく感じる。雰囲気が非常に明るく、楽しそうであり、入ってきて何かありそうだなという気持ちになる。とても良い。

私は図書館(室)の横をよく通るが、先ず子どもだけ図書館に入って行って、その後にママが追いかけて入っていく様子が伺える。お母さんが本を選ぶのではなく、子どもが自分で本を選んでいて、その様子を見たお母さんが「じゃ、借りて行こうか。」と言って会話している。どんどん新しい本を増やしてほしい。また、「ここへ来れば何か楽しいことがあるよ。」ということ伝えて行ってほしい。

子どもたちには何かスタンプを押してあげているのか。

〔館長〕

こども読書カードを発行し、本を1冊借りる毎に一つスタンプを押している。100冊借りるとこどもの写真を何枚か撮り、写真をラミネート加工(コメント入り)し、記念として渡している。

また、ささやかなプレゼントも一緒に渡している。

〔委員〕

公民館は図書館(室)もあり、大人だけではなく子どもたちも含め、色んな人が出入りしているのだなと改めて感じる。

〔委員〕

子育ての講座の講師をしている。

子どもたちが楽しめる内容を考えながら行っている。お母さんたちが交流して笑顔になると子どもたちも笑顔になる。

活動後にお母さんたちが悩みを話し合ったりする時間が持てれば良いと思っているが、月1回の活動であり、今までコロナ禍で色々な制限もあって、そうした状況にならなかったのは残念だった。お母さんたちのことが気がかりであり、何か支援できるものがあれば良いのにといつも思っている。

美和会の方々は、ボランティアで小さなお子さんがいるお母さんのために活動してくれている。そのため、小さいお子さんがいるお母さんは、講座に参加しているお母さん方と一緒に活動できなかつたり、制作も一緒にできなかつたりということも無く、安全で楽しく活動ができています。

昨年は、0歳児の数か月の子と2歳児の子がいて、どちらの子に合わせて活動したら良いか悩んだが、今年度は、年齢層を少し上げて募集したので、動ける子が多くなり、お母さん方も一緒に活動できるようになったと思う。

〔会長〕

公民館入口(公民館東南角)にあった大きな木について、何年前か前、公民館東の南北の道路に出る時に、木が邪魔をして左方面が見えないという苦情があり、だいぶ切ってもらった経過もあったが、まだまだ見えないという話を聞いていた。昨年くらいに公民館でバッサリと切ってもらい、視界も良くなり、地域住民からは「ありがとうございます。」という声が届いている。

〔館長〕

木を伐採したのは一昨年であるが、直ぐに枝が伸びてくるので、昨年も今年も頻繁に切っている。また、公民館敷地内の他の樹木についても、公民館利用者や住民の通行に樹木が邪魔にならないよう、剪定等している。

〔委員〕

横山(地区)の地域公民館を利用しているサークルは11ある。10人位のメンバーのところもあるが、高齢化が進み、少ないところは2~3人の集まりである。先ほどの事業説明で三輪公民館は利用者が若干増えているとの説明があった。公民館の会場(学習室等)を予約するのも難しい日があると聞いたことがある。

地域公民館として単発で何か講座を行えるよう、頑張ってみようかなと思っている今日この頃である。

〔委員〕

三輪公民館で(学習室の)予約等ができないような日が頻繁にあるのか。

〔館長〕

今年に入り、コロナによる制限が徐々に緩和され、サークル活動が戻りつつあるので、貸館の利用人数は増えているが、学習室の予約については、感覚的に、今年度よりも、前年度の方が取りにくい日が多くあったように思われる。コロナ禍の利用制限により他の公民館を利用できなかったサークルが当館を利用したケースも見られたことが要因の一つ。

予約が取りにくいケースをお伝えすると、駐車スペース(台数最大18台)が多くないため、車利用が多い団体が先に予約した場合や、多くの方が来場するイベント・講座が入った場合には、学習室が空いていても、貸し出さないときもある。また、車が置けなくなると予想したときには、貸し出し先を車での利用者が多くないサークルに限定するなど、制限することもある。

〔委員〕

三輪小学校の校歌にもあるが、公民館活動は「民主」という言葉が使われている。小さな子どもたちも公民館に来て、公民館活動ができることを知っておくということは、非常に大事だと思う。若者は忙しいということもあるが、自分たちで作っていくという意識を持たないといけないと思う。先ほど図書館利用者も増えているとの話を聞いたが、そういった小学生から利用できる活動を今後もお願いしたい。

〔委員〕

以前は福祉会で月1回三輪公民館に来ていたが、開催されている講座やサークル活動をあまり見ることが無かった。先ほどの公民館の事業説明を聴き、普段から多くの皆さんが活動して、利用されているのだなと認識した。

単発で開催している講座の講師等については紹介してもらえるのか。

〔館長〕

公民館でも講座の講師を探すのに苦労しているので、講座を企画する困難さはよく分かる。こちらで得た講座の情報は、地域公民館や住民自治協議会と共有したいと思う。問い合わせただけであれば、対応する。

〔委員〕

成人式について、上の子(長女)の時の開催場所は三輪公民館であったが、下の子(次女)の時は他地区との合同成人式になり、開催場所は芸術館であった。上の子の時は記念撮影や集合写真、記念品もあり記憶に残る成人式であったが、下の子の時は30分程度で式が終わってしまい、解散となり寂しく感じた。女の子であるから朝早くから支度をして、親も会場へ送って行って、また迎えに行かないといけない。内容的にそれだけなら参加する価値はあるのかと思ってしまった。ただ友達と顔を合わせて「やあやあ」だけで終わるのはどうなのか。前々から疑問に思っていた。個人的には地元の公民館で開催してほしい。

〔会長〕

昔、三輪公民館で開催していた時は、小学校の会という感じであった。出席する成人は、どちらかというと中学校の同級生に会いたいと思っているようだ。成人式の式典が終わったと同時に約3分の1の人たちは、直ぐに合同成人式の方へ行ってしまった。

そういった経過もあって三輪地区は合同成人式に参加するようになったという話も聞いている。

〔委員〕

私の地区は湯谷小学校であるので、逆にこちらへ来ると三輪小学校の人ばかりであったが、中学は東部中学校なので重なるところもあり、「懐かしいね。」ということで久しぶりに友達と顔を合わせることができたように感じている。たぶん合同成人式は規模が大きすぎて逆に顔を合わすことも難しいように思える。会ったか会わなかったかというよりは、もっと身近な地域での式の方が、楽しいのではないかと思う。

〔会長〕

(三輪地区住民自治協議会)理事会で成人式を地元開催でやろうとすると、理事から「大変である。」という声が上がると思う。

(三輪地区住民自治協議会)公民館部会で「私たちがやりますのでやりましょう。」と言えば、「拍手喝采」で賛同されるかもしれない。

〔委員〕

それは難しいかもしれない。

〔委員〕

長野市は高齢化率(人口に占める65歳以上の割合)が三十数パーセントになるかと思う。生涯にわたり健康でいることはメインテーマであり、大事である。60代はまだ元気で良いが、70代、80代の方は、外出する必要度やニーズを考えてみた場合に、家に居てどこにも出かけない。外出する目的が無いということが多い。公民館の単発講座も悪くは無いが、お互いに仲間づくりになるような継続的な取り組みが今は必要だと思う。

私の願いは、将来、要介護にならないための施策を地域公民館で、単発でも良いが、継続的な支援を行い、利用者が仲良く、お互いに助け合えるような地盤を作れる活動をお願いしたい。

もう一点は、長野市は保健指導員制度が全滅してしまっている。もともと長野県は制度がしっかり機能していたが、長野市が千何名の保健指導員の制度を辞めてしまい、周りの保健指導員の組織もガタガタになっている。公民館活動というよりは、「健康は自分の手で」という思想の普及について、保健師の活動が中心かもしれないが、公民館が保健師と手を組んで、連携して進めてほしいと思っている。

〔館長〕

健康維持・増進に関することは、公民館でも大事な施策と考え、いくつかの講座を開催しているが、主に福祉の分野になるので、一番は住民自治協議会(及び社会福祉協議会)の活動が重要であり、地域公民館との連携が必要と考える。

〔委員〕

保健指導員が長野県の一番の組織である。厚労省でも認められているこの組織だが、ぜひ長野市も頑張って(復活させて)もらいたい。

〔館長〕

地域福祉については、住民自治協議会でもかなり頑張っていると思う。

〔委員〕

そのような取り組みを継続してもらえば良い。

〔会長〕

住民自治協議会が主体となって活動を進めて声を掛けても、歩いて簡単に三輪公民館へ来られないような人もいて、車でないと公民館へ来られない人もいる。それよりも、地域公民館が主体となって進めていく方が手取り早いというか、理想に近づきやすいかもしれない。どちらかという三輪公民館は「こうしてくださいね。」といった施策の啓蒙の役割を担う場所かもしれない。